

密集地・狭小地で活躍、運転席後方の“はみ出し”が少ない後方小旋回機

3.5トンのミニショベル『TB335R』を発売

小型建設機械を開発・製造・販売する株式会社竹内製作所(本社/長野県埴科郡坂城町、代表取締役社長/竹内敏也)は、ミニショベルの新製品『TB335R』を2022年9月より販売開始しますので、お知らせいたします。

当社が提供する小型建設機械は、衣食住の「住」に深く関わり、街づくりとそのメンテナンスに欠くことのできない製品として、毎日の暮らしを支えています。なかでも当社製品は、その掘削力のみならず、優れた耐久性と安定性、なめらかで直感的な操作性、長時間でも疲れにくい快適性や居住性などを強みとして、お客様の信認を得ております。

今回発表する『TB335R』は、運転席後方の“はみ出し”が少ない後方小旋回機です。狭小地や密集地でも、死角となる後方の接触事故を気にすることなく、オペレーターは存分にショベルを運転することができます。また、高い市場評価を得ている既存機種『TB235-2』をベースに開発され、確かな販売実績に裏付けられた利便性、信頼性を継承しました。さらに本機は、従来の「TB200 シリーズ」から進化した「TB300 シリーズ」の新世代製品であり、洗練された内外装デザイン、安全・安心・パワフルといった機能面の強化も果たしました。



○ 『TB335R』の主な特長

(1) 後方小旋回機としては抜群の安定性

後方小旋回機と標準機では、重心が構造的に異なるため、掘削作業時の安定性は標準機の方が優れているのが一般的です。そこで、『TB335R』の開発では、重心を最適化することで、後方小旋回機としては抜群の安定性を確保しました。

(2) 標準機と同等の居住空間

コンパクトな後方小旋回機でありながら、標準機である既存機種『TB235-2』と同等の広さのキャビンを実現しました。長時間作業でも疲れにくく、快適に運転することができます。

(3) 直感的かつ滑らかな操作性

「意のままに滑らかにコントロールできる操作性」を当社は強みとしており、『TB335R』においても、既存機種同様の操作性を踏襲しています。

(4) TFM(Takeuchi Fleet Management)を搭載 ※オプション

製品の稼働情報、位置情報、メンテナンス履歴などを遠隔監視し、故障はもちろん、万一の盗難時に即応できます。



◎ お問い合わせ先

株式会社竹内製作所 経営管理部 阪井 大志

〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平 205 TEL:0268-81-1200

以上